



# さん さん 燦 燦

佐世保市立清水中学校  
学校だより18号  
令和7年12月5日  
校長 榑尾 吉嗣

学校教育目標：「明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成」

校訓：凛と在れ

生徒会スローガン：「昇華」～日本一の学校～

## 師走に入りました

時の過ぎるのは本当に早いもので、あっという間に12月に入りました。12月は旧暦の12月を表す「**師走**」とも呼ばれ、諸説あるものの、非常に慌ただしく、忙しい月として我々の中にイメージされています。1年の締めくくりとして、何かと忙しい毎日だからこそ落ち着いて、しっかり地に足をつけて毎日を過ごす必要があります。



日ごと、週ごとに寒暖差が大きかった11月でしたが、12月に入った途端、冷え込みも厳しく一気に冬の到来を実感します。日中の窓際はポカポカで気持ちよく感じるものの、陽が暮れていくと気温も一気に下がっていきます。つい背中も丸まり首をすくめて歩きたくなりますが、正門に立っていると、しっかりと挨拶しながら前を通過する皆さんばかりです。

先日も来校された方々から“**挨拶の気持ちよさ**” “**丁寧な対応への感心**”のご報告があったことを皆さんに伝えました。ご報告してくださった方々は、一様に「**自分から挨拶してくれて気持ちよかった**」「**さわやかな気分になった**」とおっしゃってくださいましたが、それを聞く私が、何より嬉しく、気持ちよくなりました。ぜひこの輪を学校全体に広げていきたいものです。冬本番になり登校時は一段と寒さが身に沁みますが、ポケットに手を入れて登校していてもその瞬間は手を出して挨拶をする人が増えてきました。会釈だけで終わっている人は、今度は少しだけ声にしてみましょう。それだけでお互いの心の距離がもっと近くなりますし、一日のスタートがこれまで以上に気持ちよく切れるはずですよ。

今年も残すところ1か月、学校に登校するのも今日から数えてあと14日です。“**終わり良ければすべてよし**”ではありませんが、令和7年の残りもわずかだからこそ、今年一年を今一度振り返り、良かったこと、できるようになったことはそれが『**自身の実力**』になるように続けていきましょう！。逆に改善が必要なこと、まだまだ足りないことは謙虚に受け止めて、もっと努力してみたり、取り組み方を工夫したりしながら『**自身の実力**』の引き出しを増やしていきたいものです。“**これくらいいいさ**”と妥協することは簡単です。でもその時点で成長はストップしてしまいます。さらに自身のレベルアップを図ったり、気持ちよく過ごしやすい学校にしていこうためには、“**これでどうだ!**”と胸を張って言い切る取組が求められます。今学校で行っている多くのことは、中学校生活だけのためにやっていることはほとんどありません。長い人生を歩いていく皆さんの将来が、キラキラして充実したものになっていく準備や訓練が、今この時期からすでに始まっているのです。

## さまざまな場面で活躍の姿が見られます

### 【生徒会役員選挙】

令和7年度生徒会役員選挙への取組が11月5日に告示、11月17日より選挙運動が開始され11月26日に投票が行われました。各候補者の公約を見てみると方法や手段はそれぞれですが、一様に“**清水中をもっと良くしたい**”という思いに溢れています。現在専門委員会の委員長、副委員長決定に向けての取組も行われております。12月24日には役員任命式・校旗継承式を行う予定です。先輩たちの頑張る姿を見て、後に続こうとする後輩たちがしっかりと育っていることに喜びを感じ、全員で一歩ずつ進んでいく『**新生清水中**』のこれからが楽しみです。



### 【特別支援学級交流運動会】

12月3日、体育文化館において市内の特別支援学級の交流運動会が行われました。体育文化館のステージには本校生徒の制作によるパネルが掲げられ、開始の挨拶も選手を代表して本校の生徒たちが立派に務めました。4つのブロックに分かれ、リレーや綱引き、ボウリングなど他校の生徒たちと協力しながら全力を尽くしました。学校を超えた交流の輪が広がったことが何よりも喜びです。



鮮明な画像等は、ホームページでご覧ください。